

# 万国博覧会の熱狂、それを彩るジャポニスム——

舞台は19世紀後半のフランス・パリ。  
1867年と1878年、ふたつのパリ万国博覧会を舞台に交差する国家の思惑、人と物。

「アジア」のなかに埋没していた日本のイメージがしだいに像を結び、やがてジャポニスムという「熱狂」へと収斂していく。日仏両国の史料を駆使し、開催国フランス、参加国日本、パリの観衆、三者の相互作用を通じてジャポニスムの誕生を解き明かす。

## 〈内容目次〉

### 序章

#### 第I部 一八六七年パリ万国博覧会

##### 第一章 「物」による日本イメージの形成

- 一 万国博覧会のあゆみ
- 二 一八六七年パリ万国博覧会の開催と日本の参加
- 三 博覧会場における日本

##### 第二章 外交の場としての万国博覧会 ——「日本」の揺らぎ——

- 一 幕府使節をめぐる英仏の対抗
- 二 パリ万国博覧会における幕府外交の失敗  
——薩摩藩とモンブラン——
- 三 フランス外務省の態度  
——昭武の傅役ヴィレットの報告から——

#### 第II部 一八七八年パリ万国博覧会

##### 第三章 すれちがう万国博覧会への期待 ——ジャポニスム誕生の背景で——

- 一 明治初期の日仏関係
- 二 フランスの産業芸術と「ジャポニスム」の誕生
- 三 一八七八年パリ万国博覧会の開催と日本の参加
- 四 日本博覧会事務局の創設と前田正名の活躍
- 五 日本における出品物の収集とその内容

##### 第四章 博覧会場における「ジャポニスム」の広がり

- 一 博覧会場における「日本」
- 二 「日本」の展示に対するフランスの反応
- 三 ジャポニスムの多層化  
——大衆の「熱狂」と批評家の「落胆」——

### 終章

一八七八年以降の日仏交流

本書関連年表／掲載図表一覧／人名索引



寺本 敬子 著  
Noriko Teramoto

# パリ万国博覧会とジャポニスムの誕生

Les Expositions universelles de Paris et  
la naissance du Japonisme

2017年 4月刊行

定価：本体6,500円(税別)

▶A5判・370頁

ISBN978-4-7842-1888-2

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009  
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	パリ万国博覧会とジャポニスム	本体6,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1888-2	
お名前		tel		本書HPのQRコード	
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

# 万国博覧会と人間の歴史

佐野真由子編

——万博から、人間の歴史が見える!

万国博覧会。それは、1851年のロンドンで始まり、今日まで連綿と続いてきた。近代以降の人間社会のあゆみを語る上で、万国博覧会は決して見過ごすことのできない対象である。本書は従来の研究の枠組みを超え、多様な領域の研究者のほか、万博をつくり、支える立場の政府関係者、業界関係者が集い、さらにアジア各国の研究者を迎えて、ともに議論を重ねた共同研究の成果25編。

## 【内容】

I 博覧会の人 / II 博覧会の場所 / III 博覧会と仕事・社会 / IV 博覧会の形成と展開

▶A5判・758頁／本体 9,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1819-6



## 幕末外交儀礼の研究 欧米外交官たちの將軍拝謁

佐野真由子著

アメリカ総領事ハリスの登城・將軍家定拝謁から徳川幕府終焉まで、計17例を数えた欧米諸国の外交官による將軍拝謁。政治交渉の過程とは異なる次元で展開した外交儀礼の形成過程から、従来の研究で見落とされてきた、もうひとつの幕末史を考える。

▶A6判・432頁／本体5,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1850-9

## 江戸文化が甦る

トロンコワ・コレクションで読み解く琳派から溝口健二まで

石毛弓・柏木隆雄・小林宣之編

知られざる江戸版本、浮世絵の宝庫トロンコワ・コレクションをテーマに、近世美術から近代映像作品を対象として、多彩かつ重厚な論を全文日仏両語で収録する。2014年から続く大手前大学日仏文化交流シンポジウムの集大成。大手前大学比較文化研究叢書第12巻。

▶A5判・396頁／本体3,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1847-9

## 近代日本〈陳列所〉研究

三宅拓也著

地方行政政府によって「物産陳列所」や「商品陳列所」などという名称を冠せられて建設された公共の陳列施設が、都市の農業・工業・商業を奨励する目的で各地に設置された経緯を検証し、制度・活動・建築を含めて都市との関わりに注目することで、明治から昭和戦前期の日本に普及した〈陳列所〉の実態を、豊富な図版とともに明らかにする。

▶A5判・640頁／本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1788-5

## ジャポニスム入門

ジャポニスム学会編

19世紀後半、西洋の芸術の諸分野にわたって与えた日本の影響＝ジャポニスム。本書は、これまであまり紹介されなかった地域も含め各国別の個性的な展開をやさしく読み解き、さらに建築、音楽、写真、モードという絵画・工芸以外の分野におけるジャポニスムをも射程に入れ、ジャポニスムの全体像に迫る。ジャポニスム学会20周年記念出版。

▶A5判・292頁／本体2,800円(税別)

ISBN4-7842-1053-9

## アーツ・アンド・クラフツと日本

デザイン史フォーラム編／藤田治彦責任編集

19世紀後半から20世紀初頭にかけてイギリスで繰り広げられ、ヨーロッパ大陸で新様式を誘発しながら広がっていったアーツ・アンド・クラフツ運動と、日本との関わりをさまざまな視点から論じ、デザイン・工芸・美術・社会・産業・環境・生活などの立体的な関係を考察する一助とする。

▶A5判・306頁／本体2,900円(税別)

ISBN4-7842-1207-8

## 鮫島尚信在欧外交書簡録

鮫島文書研究会編

本書簡録は、1994年春にパリで発見された“Correspondance envoyee”(1870～1877／英文並びに仏文による筆写本／鹿児島純心女子大学蔵)で、明治初期におけるわが国現地外交の実態を知る上で貴重な史料集。外交のみならず政治・教育・経済・軍事など学際的研究に寄与するところ大。

▶A5判・620頁／本体12,800円(税別)

ISBN4-7842-0962-X

## 日仏文学・美術の交流

「トロンコワ・コレクション」とその周辺

石毛弓・柏木隆雄・小林宣之編

明治27年から明治43年にかけて日本に滞在、多くの和本や美術品を蒐集、研究したE・トロンコワのバリ国立高等美術学校所蔵コレクションを柱に、日仏美術の交感を論じた7篇を日仏両言語で収録。大手前大学比較文化研究叢書第10巻。

▶A5判・284頁／本体2,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1745-8

## 応用美術思想導入の歴史

ウィーン博参同より意匠条例制定まで

天貝義教著

「美術を工業に利用すること、即ち実用と佳美を兼ねしむるに在り」と表現された応用美術。ウィーン万国博覧会参加から意匠条例が制定されるまで、応用美術思想がいかに学習され、明治期の美術・工芸界において指導的役割を果たしていったかを明らかにする。

▶A5判・410頁／本体7,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1505-8

## 国際デザイン史 日本の意匠と東西交流

デザイン史フォーラム編

1999・2000年に開催された「国際デザイン史フォーラム」(大阪大学大学院文学研究科美学研究室主催)をもとに、デザイン史における日本と西洋諸国との交流を探る56篇を収める。豊富な挿図(モノクロ)約180点を掲載。

▶A5判・304頁／本体2,900円(税別)

ISBN4-7842-1079-2

## 近代工芸運動とデザイン史

デザイン史フォーラム編／藤田治彦責任編集

「近代工芸運動」という視点を導入することにより、「近代デザイン史」という視点では抜け落ちている、各国における芸術分野での歴史・重要な動向を様々な点から解き明かす。

【内容】第1部 ヨーロッパの近代工芸運動／第2部 欧米の近代工芸運動とアジア

▶A5判・336頁／本体2,900円(税別)

ISBN978-4-7842-1438-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。